

# 新・酒蔵館



建築設計デザイン学科 3年 進藤由也

# 酒蔵リノベーション

## 課題

今回、常陸太田市折橋町にある「旧酒蔵金波寒月」を中心に今後40年～50年先を見据え、新たなプレイヤーを呼び込み、内外をつなぐコミュニティ施設を提案する。

現在の旧酒蔵金波寒月は、昔ながらの木材を生かした雰囲気を残しつつ、沢山の体験ができる

実際に訪れてみて、酒樽が沢山見えない所にあったり、貴重な道具などがあちこちに置いてあるのが現状です。また酒蔵の良さ、体験、歴史、貴重な道具を沢山の人達に見てもらい、知ってもらいたいと思った。

そこで、建物の外観や使用用途は残しつつ、内観をリノベーションしようと考えた。実際に考えた酒蔵の魅力としては、大きく3つのスペースに分かれていて、それぞれ違った楽しみ方ができる。

### 展示スペース

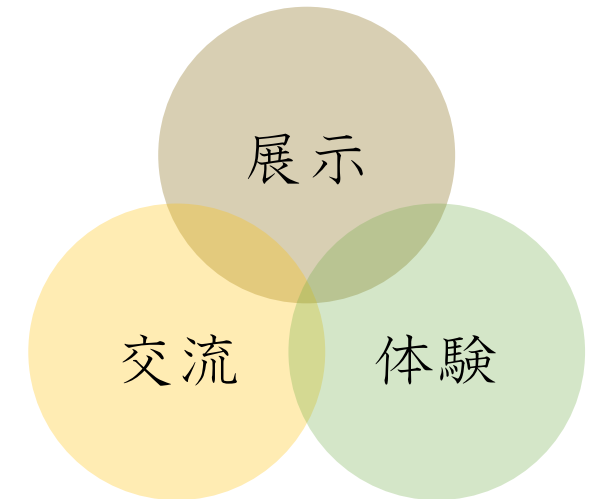
⇒貴重な道具が棚に展示してあり、展示だけでなくこれまでの歴史を知ることが出来るプロジェクターがある

### 交流スペース

⇒ぶちBARスペースと談笑スペースに分かれており、金波寒月のお酒を試飲できたり、地域の人達が談笑してコミュニティの場として活用できる

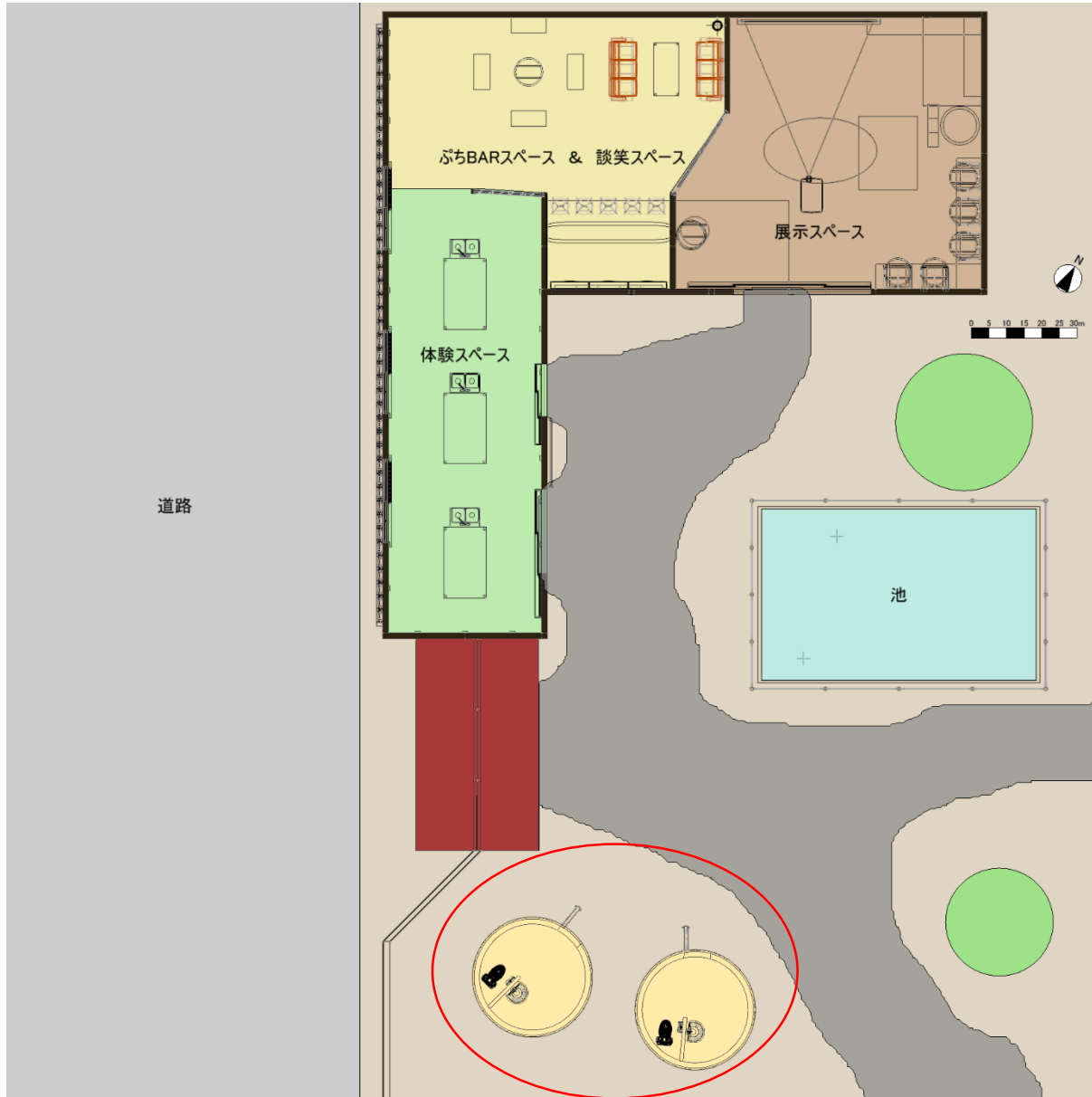
### 体験スペース

⇒現在も酒蔵で体験をおこなっているピザ作り体験・そば打ち体験ができる

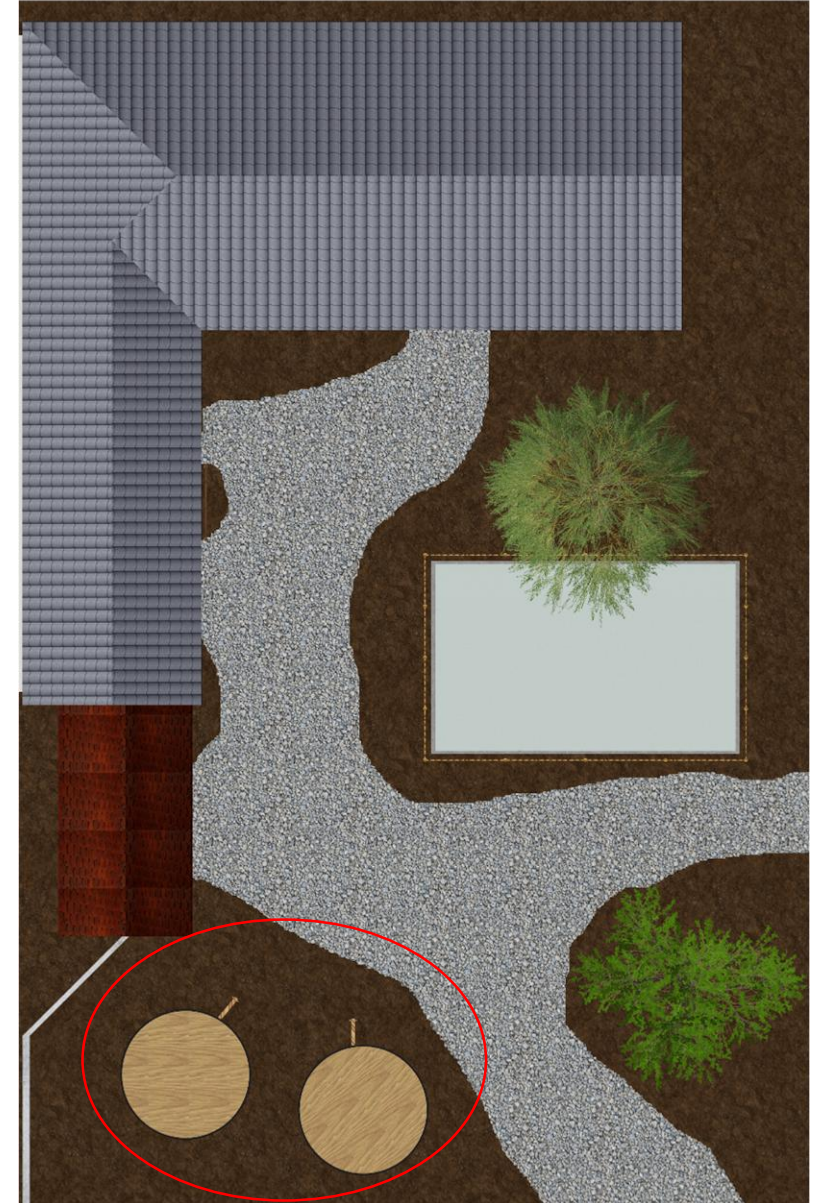




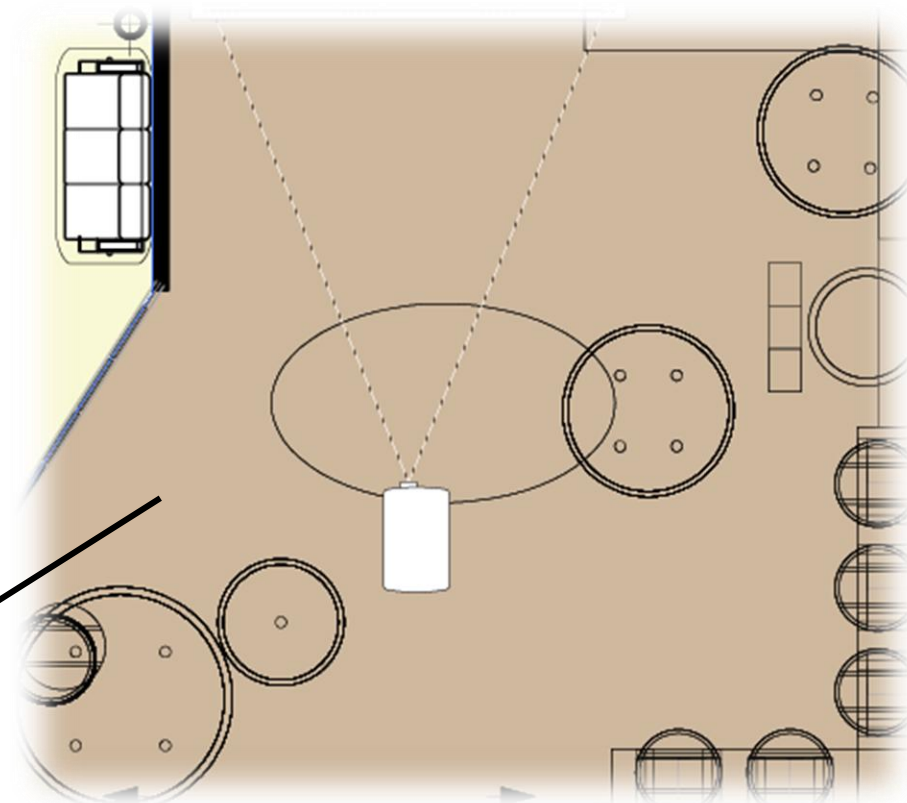
全体平面図



配置図



現在使われなくなり、2階に保管されてある酒樽を使ったダウンライト照明

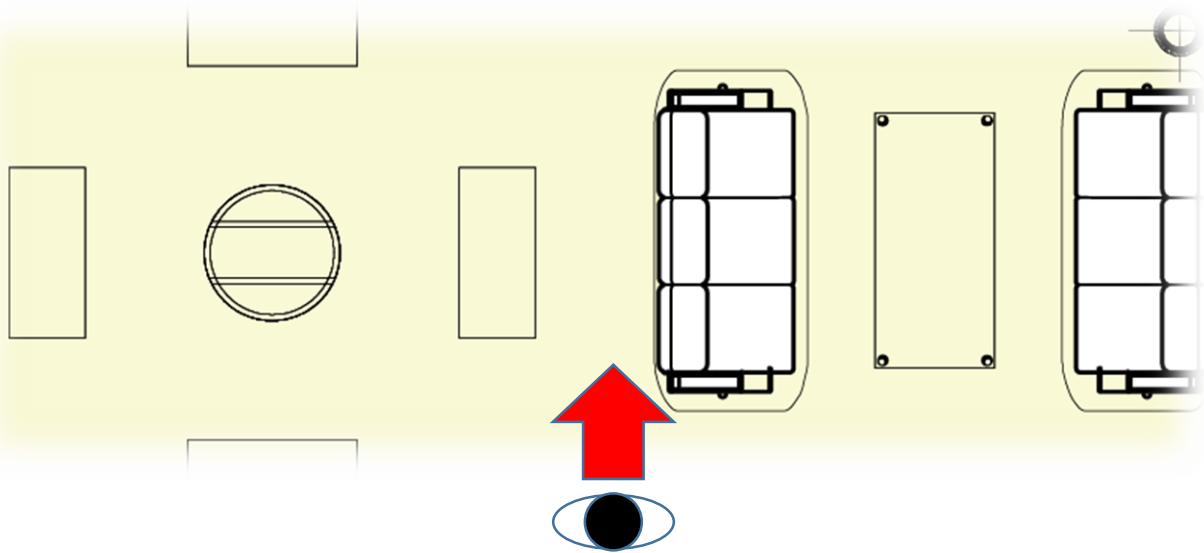


## 展示スペース

⇒現在酒蔵に残っている貴重な道具が展示してあり、プロジェクターを使い映像で歴史が知ることができる

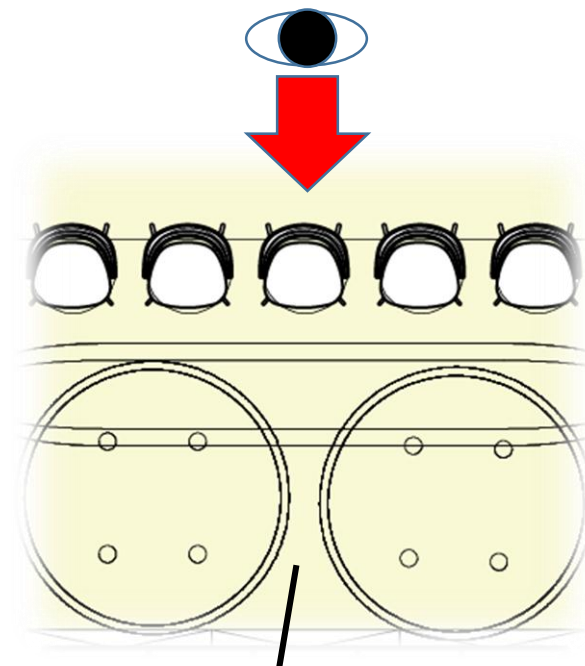
ただの展示では一度見て飽きてしまうので動きをもたらすためにお酒を造る工程の体験型展示もある





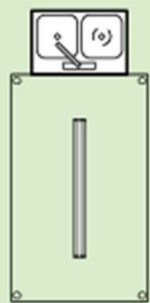
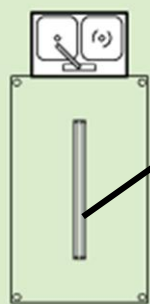
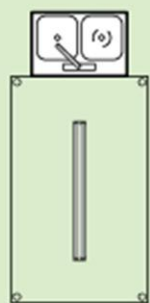
### 談笑スペース

⇒ 地域の人達が休憩したり会話をしたりすることでコミュニティ空間となる



### ぶちBARスペース

⇒ 展示スペースで酒蔵を知ってもらい、実際に製造していた『金波寒月』が試飲可能。普段も利用可能



## 体験スペース


⇒現在も体験が出来るピザ作り体験やそば打ち体験ができる  
その場で作り、その場で飲食することもできる



# 外観



外観は現在の酒蔵の雰囲気そのまま残している  
展示スペースの壁面はスケルトンにして、外からでも中が見えるようにした



最後に、この酒蔵リノベーションをすることで金波寒月の魅力・楽しさを体験を通して味わうことが出来る施設になってほしい



ご清聴ありがとうございました